令和8年度 第2回先端ものづくり技術交流セミナー

未来知実証センターで綴る

フィジカルAI 実用化の最先端



12.14 月

時　間 13:30 – 16:00

定　員 30 名　**参加費** 無料

場　所 金沢大学未来知実証センター 3F

金沢大学内に新しく完成した「未来知実証センター」でフィジカルAIの最先端について講演いたします。センターの見学、教員・学生とのディスカッションも実施します。

こんな方にオススメ！

- ✓ フィジカルAIに興味がある
- ✓ AIをものづくりに活かしたい
- ✓ AIとロボットで自動化を促進したい
- ✓ 未来知実証センターに行ってみたい
- ✓ 第一線の研究者と話してみたい

タイムスケジュール

13:00～	受付
13:30～	講演①
14:20～	講演②
15:05～	センター見学
15:35～	ディスカッション

INNOVATION AIRPORT 未来知実証センター

◇未来知実証センターとは

金沢大学の文理医融合の知を活用し、未来社会を実現するためのイノベーションを推進する場。企業・民間・自治体などと幅広く連携し社会課題解決に向けた具体的なプロジェクトを「ショーケース」と称して、発信・実装しています。

住所：石川県金沢市角間町　金沢大学角間キャンパス内

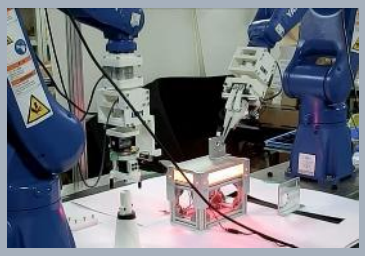
金沢市産学連携事業運営委員会
Tel：076-220-2205　E-mail：igyousyu@city.kanazawa.lg.jp

申込はこちら→

＜講演内容＞

■ 実践例から考えるフィジカルAIの可能性と実用化への展望　講師：辻　徳生

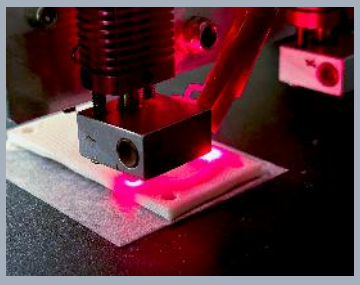
AIはどのように学習し、ロボットの動きを実現するのでしょうか。本講演では、AIの基本的な仕組みを紹介するとともに、産業用ロボットへの応用事例を通じて、フィジカルAIの可能性と課題を解説します。さらに、実践例をもとに、学習データの集め方や作り方、学習方法の工夫をひも解き、フィジカルAIの実用化に向けたヒントを探ります。



■ Physical AIのための知覚機能内包身体の具現化技術およびAI for Scienceへの取り組み

講師：西村 斉寛

Physical AIの実現には、周囲の環境や自身の状態を知覚し、物理世界と相互作用できるロボット身体の構築が重要である。本講演では、3Dプリンティング技術を活用し、構造物そのものにセンシング機能を内包することで、知覚機能を有するロボット身体を具現化する研究について紹介する。また、AI for Scienceへの取り組みとして、SPReAD1000に採択された研究課題を中心に、AIを活用した研究開発の効率化と自動化に向けた取り組みについて紹介する。



＜講師紹介＞



辻　徳生

Tsuji Tokuo

金沢大学　理工研究域
フロンティア工学系　准教授

2005年に博士（工学）を取得。広島大学では1000fpsの高速ビジョンに関する研究に従事。その後、産業技術総合研究所、九州大学、金沢大学において、ロボットの動作計画やマニピュレーションに関する研究を進めるとともに、ロボット関連企業との共同研究を通じて、研究成果の実用化に取り組む。2018年には、世界的なロボット競技会であるWorld　Robot Summit（WRS）のものづくりカテゴリーで第2位の成績を収める。



西村 斉寛

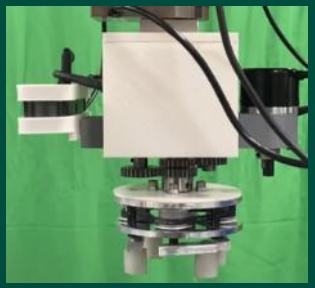
Nishimura Toshihiro

金沢大学　理工研究域
フロンティア工学系　助教

2018年博士前期課程を修了。産業用ロボットメーカであるファナック株式会社に入社、協働ロボットCRシリーズやCRXシリーズの機構開発に従事。2018-2019年に社会人博士として博士学位を取得。2021年より現職としてロボットハンドや自動化に関する研究に従事。ロボティクス分野におけるトップ会議であるIROSにて機構部門優秀論文賞を受賞するなど先進的ロボット技術の創出に取り組んでいる。









＜申込期限＞　**令和8年12月8日（火）**

＜注意事項＞

中小企業向けですが、金沢近郊の企業・個人事業主・研究開発機関・行政機関の方も受講できます。
応募多数の場合は先着順になります。あらかじめご了承ください。
駐車場に限りがありますので、なるべく乗りあわせ・公共交通機関を利用ください。
お申し込みいただいた方には、今後金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合があります。